

## 【第3号議案】

# 平成17年度事業計画書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

- ① 各学会、協会の連絡、協力及びその総合活動（定款第4条1号）
  - ・ 平成17年度定時総会を次のとおり開催する。  
日時 平成17年4月18日(月)  
場所 建築会館ホール 参加予定者数 75人
  - ・ 事務研究委員会を8月を除く毎月1回、計11回開催する。
  - ・ 前年度までのPDE協議会委員会を発展的に解消し、技術者能力開発協議会（略称：PDE協議会）を本会の中に創設し、これまでの調査研究の成果にもとづいて、会員学協会が実施している技術者の継続的能力開発プログラムを中心にこれらの統合調整に係る次の活動を行う。
    - 1) 能力開発プログラムの情報提供
    - 2) 能力開発プログラムの品質基準にもとづく認定の試行
    - 3) 複数の能力開発プログラム間の受講履歴の統一的蓄積方法の明確化
  - ・ ウェブサイトの充実  
上記の能力開発プログラムの情報提供のための、ポータルサイト構築と、従来サイトに会員情報提供を加える等のコンテンツ充実を図る。
  - ・ 平成17年版第44号日本工学会年報を下記のとおり発行する。  
発行年月日 平成17年11月30日 発行部数 200部  
また、年報のwebサイトへの掲載を行う。
  - ・ 日本工学会ニュースを2回発行する。  
発行時期 平成17年5月および12月 発行部数 各回300部
- ② わが国工学関係の学会、協会を代表して、内外の諸機関、団体及び個人との連絡（定款第4条2号）
  - ・ 有限責任中間法人 学術著作権協会の活動に、理工系学協会代表の理事として引続き参画する。
  - ・ 学協会の今後のあり方に関し、日本学術会議、日本医学会および日本農学会の代表と協議を行う。
  - ・ 世界物理年日本委員会の事業に、理工学系学協会の代表として協力する。
- ③ 建議、請願、公益事業の協賛（定款第4条3号）
  - ・ 会員学協会の発展および理工系技術者の地位向上のための要請や提言を、適宜、政府あるいは社会に向けて行う。
  - ・ 理工学系の公益性のある講演会等の事業を共催・後援・協賛する予定である。
- ④ 調査、研究（定款第4条4号）
  - ・ 我が国における技術者コミュニティの拡大発展を目指して、会員学協会からの委員の参画を求めて委員会を設置して、そのために本会や会員学協会が果たすべき役割を明確にするための調査研究を行う。
- ⑤ 講演会、講習会及び座談会の開催（定款第4条5号）
  - ・ 日本工学会シンポジウム「技術者と技術者コミュニティ」

日時 平成 17 年 4 月 18 日 15 時 00 分～17 時 30 分

場所 建築会館ホール 参加予定者数 250 名 演題数 4 件

- ・ 第 11 回青少年科学技術フォーラム

日時 平成 17 年 10 月頃 場所 東京都

- ・ 技術者の能力開発に関するシンポジウム

日時 平成 17 年 10 月頃 場所 未定

- ・ 学術団体のあり方に関するシンポジウム

日時 平成 17 年 12 月頃 場所 未定

⑥ その他目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条 6 号）

特になし。

以上